



訪問ガイド 2026

アブダビ自然史博物館

アブダビ・から 16.70€

<https://nhmad.visit-tickets.com/ja/>・優先入場チケット & 料金



起源 & 歴史

138億年の物語がここに集結

GOOGLE **4.7** ★★★★★ 1307レビュー

TIQETS **5.0** ★★★★★ 5レビュー

アブダビ自然史博物館は、サディヤット島の文化的景観に新たな次元をもたらす壮大なプロジェクトです。2022年に公式に始動したこの構想は、単なる展示場ではなく、世界クラスの科学研究センターとして位置づけられています。オランダの建築事務所Mecanooが設計を手掛けた35,000平方メートルの建物は、ルーブル・アブダビやザイド国立博物館と並び、中東最大の自然史博物館としての野心を表現しています。2025年11月22日の開館により、宇宙の起源から地球の未来に至るまでの物語が初めて一般公開されました。

この博物館の核となるのは、**138億年**にわたる連続的な歴史叙述です。ビッグバンから始まる宇宙論的視点を経て、地質学的時間、生物進化、そして人類の登場へと視線を移します。特に注目すべきは、アラビア半島の固有の自然史に焦点を当てた点です。砂漠地帯と思われがちな地域が、かつては多様な生態系を持っていたことを示す証拠を収集し、展示することで、地域のアイデンティティと科学的知見を融合させています。

コレクションの中心には、オークションで記録的な**3,180万**ドルで落札されたティラノサウルス「スタン」があります。6,700万年前の標本であり、これまで発見された中で最も完全な骨格の一つであることは、博物館の学術的威信を象徴しています。また、1969年にオーストラリアに落下したマーシュン隕石も収蔵されており、太陽系形成以前の有機物質を含むという点で、宇宙化学研究において極めて貴重な資料となっています。

教育と研究の側面においても、この施設は革新的です。**PaléoLab**のようなインタラクティブスペースを通じて、子供たちや一般来場者が古生物学に触れる機会を提供しています。さらに、分子生物学や古代DNA (ADNa) の研究支援など、最先端の科学調査を支援するインフラを整備することで、単なる観光地を超えた知的ハブとしての役割を果たそうとしています。

体験

エントランスホールに入ると、まず目を奪われるのは天井まで届く巨大な竜脚類恐竜の群れです。5体のSauropodaが動的な配置で展示されており、まるで彼らが現在も歩いているかのような臨場感を与えます。朝日が入り込むガラス張りのアトリウムでは、光が骨格の複雑な構造を浮き彫りにし、静寂の中で太古の息吹を感じることができます。この空間は、科学の厳粛さと芸術的な美しさが交差する場所と言えます。

廊下を進むにつれて、展示は地球の深層へと誘います。冷たい空気と落ち着いた照明が、訪れる者の心を沈黙させ、思考を促します。マッコウクジラの25メートルにも及ぶ骨格の下を通過するとき、海洋生命のスケールに対する畏敬の念が湧いてきます。各ギャラリーはテーマごとに色分けされ、視覚的に整理されているため、迷路に入るような不安なく、**138億年**の旅を安心して楽しむことができます。



訪問の準備

実用的な情報

住所 サディヤット島・アクセス：車またはタクシー推奨。直接のメトロはありませんが、市中心部からのシャトルバスがあります。	営業時間 季節や地域のお祝いに 따라変動します。移動前に必ず公式サイトで利用可能な枠を確認してください。
料金 4歳未満の子供は無料。{promo}。入場を保証するためにオンラインで予約してください。	所要時間 ジュラ紀の恐竜が展示された壮観なアトリウムや詳細なテーマギャラリーを含む完全な見学には、2〜3時間予定してください。
写真撮影 個人の写真撮影はフラッシュなし、三脚なしで許可されています。スタン（Stan）の骨格などの敏感な標本を保護し、他の来場者の快適さを確保するため、フラッシュの使用を避けてください。	対象客層 インタラクティブなPaléoLabによりファミリーに理想的ですが、科学コンテンツの深さと35,000 m2の構造により、科学や建築の愛好家にもおすすめです。

LOCALISATION

Où se trouve アブダビ自然史博物館？



 Natural History Museum – アブダビ

 24°31.715' N, 54°24.245' E



組 織

テーマ別ギャラリーの構成

メインアトリウム (入り口)

入ってすぐの広大な空間には、5体の竜脚類恐竜が動態的に配置されています。中央部にはティラノサウルス「スタン」の骨格が展示され、遠くからでもその存在感を感じ取れます。ここは写真撮影スポットとしても人気で、朝の光が最も美しく骨格を照らします。受付やギフトショップもこの階にあります。

地上1階 (主題ギャラリー)

この階では、「地球の歴史」「世界の進化」「私たちの世界」といった主要なテーマに沿った展示が広がっています。アラビア古生物学ギャラリーでは、ステゴテトラペロドンなどの地域固有の化石模型を見ることができます。また、マーシュン隕石やマッコウクジラの骨格もこの階にあり、宇宙から海洋生命までの多様な標本に触れます。

特別展示室 & PaléoLab

教育的な体験を重視したスペースです。PaléoLabでは、レプリカ化石を触ったり、顕微鏡観察をしたりすることができます。子供向けのワークショップも定期的に開催されており、親子で一緒に学ぶことができます。加えて、「地球の未来」ギャラリーでは気候変動に関する最新の研究成果が紹介され、現在の課題への気づきを促します。

アクセシビリティ

車椅子アクセス

Mecanoo設計のモダンな建物で、車椅子での完全アクセスが可能。

ファミリー向け

パレオラボなどのインタラクティブスペースや、子供向けに最適化された視覚展示。

オーディオガイド

フランス語, 英語, アラビア語



選択

必見の8つの絶景展示

01

メインアトリウム

スタン (Tyrannosaurus rex)

博物館のアイコンであるスタンは、6,700万年前のティラノサウルスのほぼ完全な骨格です。オークションで3,180万ドルという高価で落札されたこの標本は、保存状態の良さと科学的価値において比類がありません。その迫力ある姿は、訪れる者の心を震撼させます。

💡 スタンは、これまで発見された中で最も完全なT.rexの一つであり、その頭蓋骨の形状から個体の年齢や健康状態が推定されています。

02

メインアトリウム

5体の竜脚類恐竜

世界初となる展示で、5体の巨大な竜脚類が群れを成して配置されています。これらは静止しているのではなく、動きのあるポーズで再現されており、当時の生態系のダイナミズムを視覚化しています。天井近くまで伸びる尾や首は、建築空間との対比によってさらに強調されます。

💡 これらの恐竜は、社会性を持つ可能性を示唆する配置で展示されており、従来の単独行動説を更新する仮説に基づいています。

03

地上1階

マッコウクジラの骨格

全長25メートルにも及ぶマッコウクジラの骨格は、海洋生命のスケールを物語る驚異的な展示です。雌の標本であり、椎骨の詳細な構造を観察することで、この巨人がどのように泳いでいたかを想像できます。その大きさは、人間と比較すると圧倒的な印象を与えます。

💡 この標本は、深海での生活に適応した身体的特徴を示しており、耳骨の分析から音波による狩り方法が解明されています。

04

宇宙ギャラリー

マーシュン隕石

1969年にオーストラリアに落下したマーシュン隕石は、70億年前の太陽系形成前の粒を含んでいます。これは、星間空間からの有機物質への直接的な窓を開くものであり、宇宙化学研究において極めて重要です。展示ケースの中では、その黒い表面と内部の結晶構造が見られます。

💡 この隕石には、地球上よりも古い窒素同位体が含まれており、太陽系誕生以前の超新星爆発の痕跡を残しています。

05

地上1階

アラビア古生物学ギャラリー

アラビア半島の過去の生物多様性を示す展示です。ステゴトラペロドンのような史前象の模型があり、現在の砂漠が緑豊かな土地だったことを思い出させます。地域固有の化石を発掘し、復元した成果がまとめられており、ローカルな視点から地球史を理解できます。

💡 ステゴトラペロドンは、アジアとアフリカをつなぐ陸橋を通じて移動してきたと考えられ、大陸間の生物交流の証拠となっています。

06

特別展示室

PaléoLab

子供向けに設計されたインタラクティブスペースです。レプリカ化石を触ったり、顕微鏡で岩石切片を観察したりすることができます。教育スタッフによる指導もあり、古生物学への興味を育む理想的な環境です。手を動かしながら学ぶことで、記憶に残りやすい体験になります。

💡 ここでは、化石のクリーニング過程を実演することもでき、研究者の日常の一コマに触れることができます。

07

地上1階

地球の未来ギャラリー

気候変動や環境問題に取り組む展示です。過去の地質学的データと現在の測定値を比較し、人間の活動の影響を可視化しています。グラフやモデルを用いて、将来予測が行われており、科学的根拠に基づいた議論を促進します。訪れる者に行動変容を促す重要なセクションです。

💡 このギャラリーでは、氷河期のサイクルと現代の温暖化の違いが明確に示されており、異常性の程度が理解できます。

08

地上1階

2体のT. rex対決

2体のティラノサウルスがトリケラトプスを争うシーンが再現されています。動的なアクションを捉えたこの展示は、映画のようなドラマチックさを持ち、恐竜の生態についての一般的なイメージを更新します。攻撃と防御の瞬間が凍結されており、視覚的に非常にインパクトがあります。

💡 このポーズは、骨格の関節可動域に基づいて計算されており、生物力学の最新研究を反映しています。

アドバイス

完璧な訪問のための戦略

TIMING

開館直後に訪れましょう。アトリウムの竜脚類恐竜は朝の光が一番美しく、かつ人が少ないため、最高の写真を撮ることができます。週末は混雑するため、平日の利用をお勧めします。

PARCOURS

まずはメインアトリウムでスタンを確認し、その後地上1階の主題ギャラリーへ進みます。最後にPaléoLabや地球の未来ギャラリーを終了前に回ると、体力の消耗を抑えつつ、教育的な内容で締めくくることができます。

PAUSE

博物館内にはカフェがありますが、より充実した食事をする場合はサディヤットビーチカフェを利用することをお勧めします。海風を感じながらランチを楽しみ、午後の見学に備えましょう。

AUDIOGUIDE

フランス語、英語、アラビア語のオーディオガイドが利用可能です。特にアラビア古生物学や宇宙ギャラリーでは、専門用語の説明が役立つため、借りる価値があります。スマートフォンアプリ版も検討してみてください。

BILLET

必ずオンラインで予約してください。特に学校休暇中や祝日には、入場枠が制限される場合があります。事前購入により、受付での待ち時間を回避し、スムーズに見学を開始できます。

PHOTO

フラッシュと三脚は禁止されています。スタンの骨格を背景に写す際は、他の来場者に配慮し、/gallery/の没入感を壊さないよう静かに行動しましょう。逆光にならないよう、窓側の角度を探ってください。

ENFANTS

PaléoLabは子供たちに最適です。8歳以上の児童であれば、化石に触れたり、顕微鏡を使ったりして1時間以上楽しめるでしょう。事前にスタッフに質問することを許可しておく、より深い学びにつながります。

CONFORT

35,000平方メートルの施設を歩き回るため、快適な靴を履いてください。空調は効いていますが、外気温との差が大きいため、薄手のジャケットを持参するのが賢明です。



よくある質問

よくある質問

自然史博物館のチケットは事前に予約する必要がありますか？

はい、特に週末や学校休暇中はオンライン予約が強く推奨されます。これにより入場が保証され、受付での待ち時間を回避できます。Saadiyatでの大きな文化イベント時には、時間枠が制限される場合があります。

学生やシニア向けの割引料金がありますか？

一般的に、エミレーツまたは居住者の学生およびシニア向けに優待料金が存在します。オンライン予約時に特定の条件を確認してください。4歳未満の幼児は無料入場となる場合があります。

予約のキャンセルや変更は可能ですか？

キャンセルポリシーは購入したチケットの種類によって異なります。標準的なチケットの多くは、訪問日の24時間前まで無料でキャンセル可能です。詳細については、購入時の利用規約をご確認ください。

アブダビ・ループルとの複合パスはありますか？

はい、「Saadiyat島」複合パスがしばしば提供されており、島の主要な博物館へのアクセスを提供します。Louvre Abou Dabiなど複数の施設を訪れる予定であれば、経済的な選択肢となります。予約時にこれらのオファーの有効性を確認してください。

自然史博物館の見学にはどのくらい時間がかかりますか？

充実かつ落ち着いた見学には2〜3時間を見込んでください。これには、竜脚類のアトリウムでの鑑賞、スタン（T.rex）の発見、テーマギャラリーのパネル読み込みが含まれます。小さな子供連れのご家族は、特にインタラクティブなPaléoLabを探索する場合、より多くの時間を要する可能性があります。

ご存知ですか？

エピソード & トリビア

史上最も高価な恐竜

スタンが**3,180万ドル**で売却されたことは、科学界だけでなくアート市場にも衝撃を与えました。この金額は、博物館の財政的コミットメントを示すとともに、公衆の関心の高さを証明しています。オークションでは、匿名のバイヤーが最終入札者となり、その後アブダビ政府が取得しました。

星の粉塵

マーシュン隕石に含まれる粒は、太陽系より古い起源を持っています。これらは、超新星爆発によって宇宙空間に放出され、数百万年後に太陽系形成時に捕獲されました。この発見は、生命の原材料が宇宙全体で共有されていることを示唆しています。

消えたアラビアの象

ステゴテトラペロドン、アラビア半島で発見された希少な哺乳類化石です。約500万年前に生息していたとされ、当時の気候が今とは大きく異なっていたことを示しています。この種は、アジアとアフリカをつなぐ陸路を通じて移動してきたと考えられています。

建築の意図

Mecanooによるデザインは、光と透明性を重視しています。ガラス張りのファサードは、サディヤット島の風景を取り込み、内外の境界を曖昧にします。これにより、自然史というテーマ自体が建築の中に溶け込み、訪れる者に開放感と親しみやすさを与えています。

博物館周辺

サディヤット島は文化と自然が調和した理想的なエリアです。博物館から徒歩数分のルーブル・アブダビでは、普遍史を巡る展覧会を楽しむことができ、一日の行程を豊かにします。昼食には、インド洋を望むサディヤットビーチカフェを訪れ、テラス席でリラックスしましょう。白砂の浜辺とヤシの木が並ぶサディヤットビーチパークでは、家族連れでも安心して散歩できます。近隣にはザイード国立博物館や建設中のグッゲンハイム・アブダビもあり、文化的な探索を続けるのに最適な環境です。



アブダビ自然史博物館での訪問は、単なる知識の獲得ではありません。それは、自分自身の存在が宇宙の長い歴史の中でどのように位置づけられているかを再認識させる哲学的体験です。恐竜の骨格や隕石の欠片に触れることで、私たちは過去と未来をつなぐ架け橋となります。ぜひ、この壮大な物語の一部になり、サディヤット島の空を見上げながら、地球の未来について考えてみてください。